

国土交通大臣認定L型擁壁

ザ・ウォールⅡ (大地震対応型)

設計水平震度 $kh=0.250$



ザ・ウォール協議会事務局

ベルテクス株式会社 内

東京都千代田区麹町五丁目7番地2

TEL 03-3556-0472 FAX 03-3556-2721

<https://vertexgrp.jp>

本仕様は予告なく変更することがあります。当会に無断で転載および複写を禁じます。

ザ・ウォール協議会

皆様の財産である宅地を安心安全に構築できる擁壁が、ザ・ウォールⅡ(大地震対応型)です。大規模地震動の設計水平震度kh=0.250に対応しました。

特長

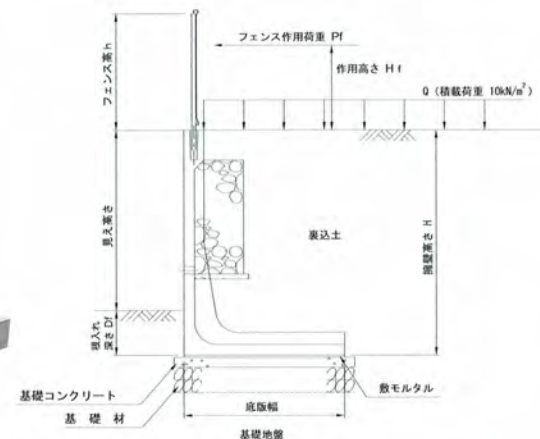
- 国土交通大臣認定擁壁では全国でトップシェアです。
- 国土交通大臣認定(宅地造成等規制法施行令第14条)を取得しているの
認定条件内であれば設計・計算等の手間が不要で、計画から認可までの期
間を短縮でき、手続きも簡素化できます。
- 宅地造成等規制法施行令第19条に規定されている大規模地震動に対応し
ています。
- 直線部及びコーナー部製品共に、大地震対応の耐震設計を考慮しています。
- 前面が垂直なので、敷地境界線まで土地を最大限有効に使用できます。
- コーナー部は90° ≤ θ < 180°の任意の角度で、一体で製造できます。
- 認定条件の範囲で擁壁の天端にフェンスを取り付けることが可能です。
- 前面に表面化粧を施すことができます。(厚さ50mmまで。)
- 直線部製品のみ擁壁長を1.0mまで、短縮することができます。



■ 土質定数等

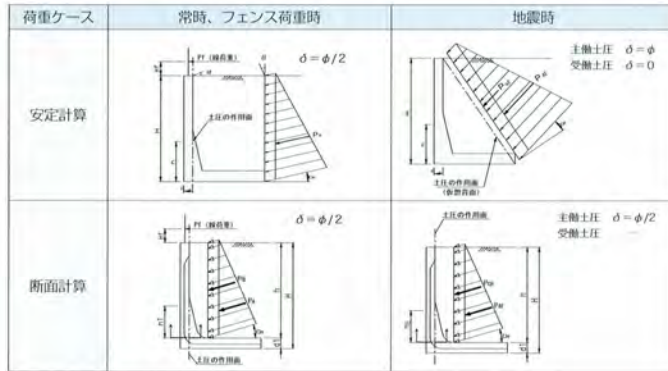
項目	長期	短期		
	常時	フェンス荷重時	大地震時	
地表面の勾配	LEVEL			
積載荷重 (積雪荷重)	Q = 10.0kN/m ² (積雪荷重を含む)			
裏込土の内部摩擦角	φ = 30°以上 または φ = 25°以上30°未満			
裏込土の単位体積重量	γ ₁ = 16 ~ 19kN/m ³			
基礎地盤の内部摩擦角	φ = 30°以上 または φ = 25°以上30°未満			
滑動摩擦係数	μ ≤ 0.6の場合 μ = tanφ μ > 0.6の場合 μ = 0.6 φ = 30°の場合 μ = 0.577 φ = 25°の場合 μ = 0.466			
必要根入れ深さ Df 岩盤に設置する場合を除く	φ = 30°以上 : Df = 35cm以上かつ見え高さの15 / 100以上 φ = 25°以上30°未満 : Df = 45cm以上かつ見え高さの20 / 100以上			
安定計算用の壁面摩擦角 (主働土圧)	δ = φ/2		δ = φ	
安定計算用の壁面摩擦角 (受働土圧)	-		δ = 0	
断面計算用の壁面摩擦角 (主働土圧)	δ = φ/2			
地域係数 (注1)	-	-	1.0	
設計水平震度	-	-	kh = 0.250	
設計鉛直震度	-	-	kv = 0	
土圧の算定式	クーロン式	クーロン式	物部・岡部の式	
コンクリートの単位体積重量	γ _c = 24.0kN/m ³			
設置可能フェンス高	h = 2.00m以下 (注2)			
フェンス荷重	作用高さ Hf = 1.10m 作用荷重 Pf = 1.0kN/m 及び、建設省告示第1454号による風荷重			
荷重の組合せ	自重	○	○	○
	積載荷重	○	○	○
	常時主働土圧	○	-	-
	地震時主働土圧	-	-	○
	慣性力	-	-	○
	地震時受働土圧	-	-	○
フェンス荷重	-	○	-	

(注) 1. 建築基準法施行令第88条1項による地域係数
2. 見付率により異なります (P13参照)



■ 土圧及び土圧の作用面

- 常時 (常時) (主働土圧 : Coulomb (クーロン) 土圧式)
- フェンス荷重時 (短期) (主働土圧 : Coulomb (クーロン) 土圧式)
- 大地震時 (短期) (主働土圧 (受働土圧) : 物部・岡部の式)



仮想背面 (土圧の作用面) の位置及び壁面摩擦角 δ は左表による。

■ 安全率

項目	長期		短期	
	常時	フェンス荷重時	フェンス荷重時	大地震時
安定計算	地盤反力度	基礎地盤の長期許容応力度以下 (極限支持力度 1/3以下)	基礎地盤の短期許容応力度以下 (極限支持力度 2/3以下)	基礎地盤の極限支持力度以下
	転倒	1.5以上		1.0以上
	滑動	1.5以上		1.0以上
部材計算	モーメントM	1.0以上		1.0以上
	せん断力Q	1.0以上		1.0以上
	付着	—		1.0以上
	ひび割れ	1.0以上		—
終局時部材計算				
終局	モーメントM		3.0以上	
	付着割裂		1.0以上	

■ 部材計算許容応力度

(N/mm²)

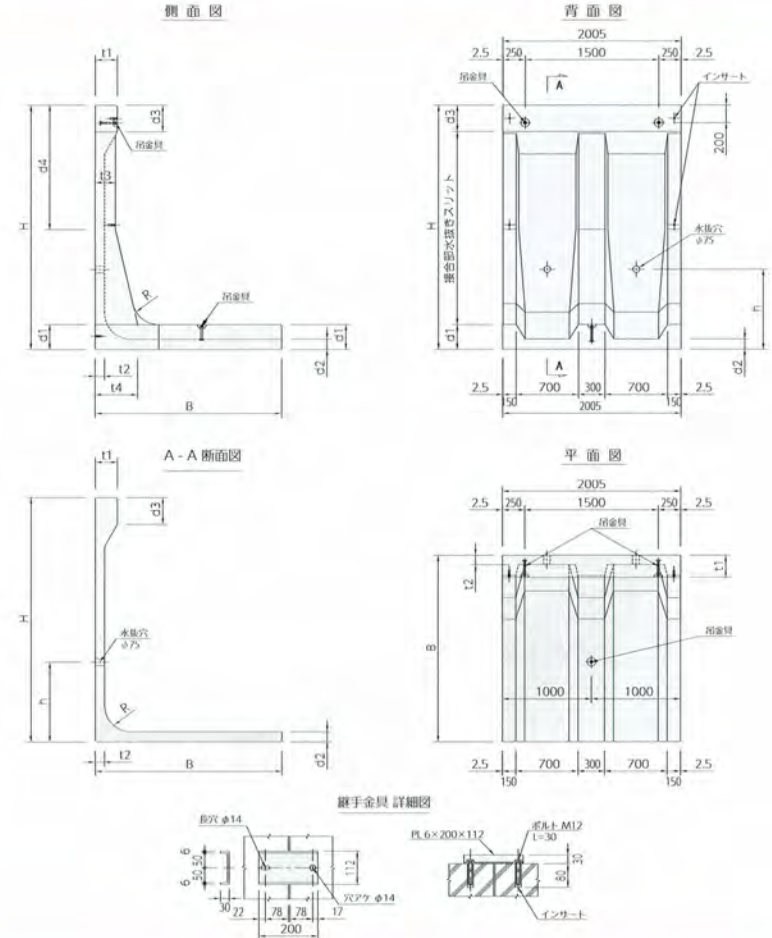
コンクリート		長期	短期	終局
設計基準強度 F _c =30 F _c =40	圧縮	10.0	20.0	—
	せん断	0.79	1.185	—
	付着	1.70 [2.55]	2.55 [3.82]	—
	付着割裂	—	—	1.32

付着欄の [] 外は上端筋, [] 内はその他の鉄筋を示す

(N/mm²)

鉄筋		長期	短期	終局
SD295A SD345	圧縮	195	295	—
	引張	195	295	395 (注)
	せん断補強	195	295	—

(注) (公)全国宅地建物技術協会基準値



(単位 : mm)

呼び名	H	B	t1	t2	t3	t4	d1	d2	d3	d4	R	h	製品体積 (m ³)	製品質量 (kg)
1000	1,000	750	150	110	110	150	160	110	300	440	150	550	0.427	1,020
1250	1,250	900	150	105	130	200	170	110	300	580	150	750	0.539	1,290
1500	1,500	1,050	150	105	150	240	180	110	300	720	150	750	0.664	1,590
1750B	1,750	1,300	200	105	160	260	200	110	300	850	225	850	0.878	2,110
2000B	2,000	1,500	200	105	180	280	220	110	300	990	225	850	1.046	2,510
2250B	2,250	1,650	200	105	200	350	230	110	300	1,130	225	850	1.215	2,920
2500B	2,500	1,850	250	105	210	400	250	110	300	1,260	300	850	1.472	3,530
2750B	2,750	2,050	250	105	230	480	280	115	300	1,400	300	900	1.725	4,140
3000B	3,000	2,200	250	110	250	550	300	120	300	1,530	300	950	1.979	4,750

- (注) 1. 吊治具はメーカー指定のものを使用してください。
2. 規格外の高さを使用する場合は、直近上位の規格の擁壁高を準用できます。
3. 上記呼び名は、大臣認定上の呼び名から「X」を省略しています。
例 : 大臣認定上の呼び名「2500XB」→カタログ上の呼び名「2500B」

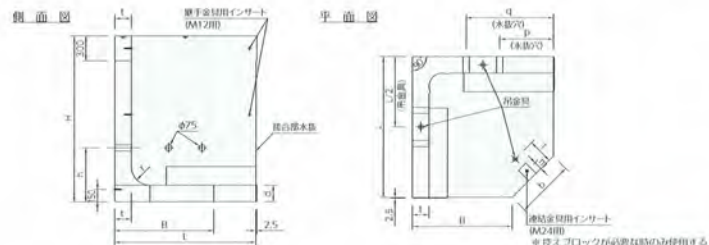
コーナー部 形状・寸法表 1

kh=0.250

角度は $90^\circ \leq \theta < 180^\circ$ まで、自由に対応できます。ご使用にあたって、下記のことをご注意ください。

- 吊治具はメーカー指定のものを使用してください。
- 規格外の高さを使用する場合は、直近上位の規格の擁壁高を準用できます。
- 呼び名に「B」が付くものを使用した場合、底版先端に取り付ける「控えブロック」が、不要となるか、小さくなる場合があります。(P7~8参照)
- 呼び名に「B」が付くものを取り扱っていない場合がありますので、メーカーにお問い合わせください。

90°

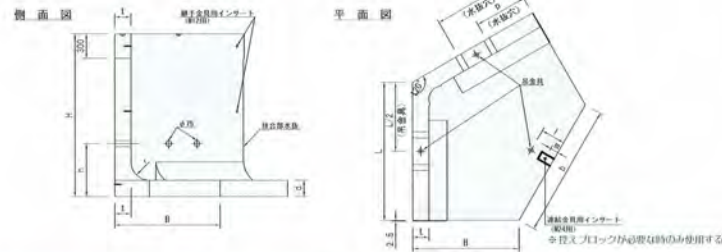


(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	製品質量 (kg)
C1000-90	1,000	1,500	750	150	150	550	750	-	150	150	-	1,061	0.672	1,610
C1250-90	1,250	1,500	900	150	150	750	750	-	150	150	-	849	0.796	1,910
C1500-90	1,500	1,500	1,050	150	150	750	750	-	150	150	-	636	0.916	2,200
C1750-90	1,750	1,700	1,200	200	200	850	850	-	225	300	-	707	1.577	3,780
C1750B-90	1,750	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	-	566	1.586	3,810
C2000-90	2,000	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	150	566	1.747	4,190
C2000B-90	2,000	1,700	1,450	200	200	850	850	-	225	300	-	353	1.757	4,220
C2250-90	2,250	1,700	1,500	200	200	850	650	1,050	225	300	150	283	1.921	4,610
C2250B-90	2,250	1,700	1,650	200	200	850	650	1,050	225	300	150	71	1.924	4,620
C2500-90	2,500	1,900	1,700	250	250	850	650	1,250	300	300	150	283	2.954	7,090
C2500B-90	2,500	1,900	1,850	250	250	850	650	1,250	300	300	-	71	2.959	7,100
C2750-90	2,750	1,900	1,850	250	250	900	650	1,250	300	300	150	71	3.182	7,640
C2750B-90	2,750	2,100	2,050	250	250	900	650	1,250	300	300	-	71	3.640	8,740
C3000-90	3,000	2,000	1,950	250	250	950	750	1,250	300	300	200	71	3.644	8,750
C3000B-90	3,000	2,250	2,200	250	250	950	750	1,250	300	300	200	71	4.263	10,230

(注)「※」の製品は、隣り合う製品または角度によっては設置できない場合がありますので注意してください。

120°



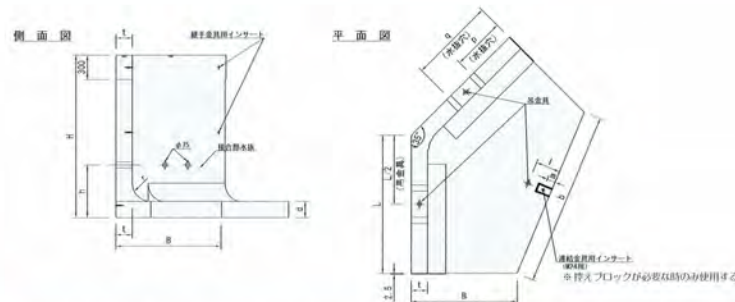
(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	製品質量 (kg)
C1000-120	1,000	1,500	750	150	150	550	750	-	150	150	-	1,848	0.744	1,790
C1250-120	1,250	1,500	900	150	150	750	750	-	150	150	-	1,698	0.888	2,130
C1500-120	1,500	1,500	1,050	150	150	750	750	-	150	150	-	1,548	1.030	2,470
C1750-120	1,750	1,700	1,200	200	200	850	850	-	225	300	150	1,744	1.781	4,280
C1750B-120	1,750	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	-	1,644	1.811	4,350
C2000-120	2,000	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	150	1,644	1.975	4,740
C2000B-120	2,000	1,700	1,450	200	200	850	850	-	225	300	-	1,494	2.016	4,840
C2250-120	2,250	1,700	1,500	200	200	850	650	1,050	225	300	150	1,444	2.193	5,260
C2250B-120	2,250	1,700	1,650	200	200	850	650	1,050	225	300	-	1,294	2.229	5,350
C2500-120	2,500	1,900	1,700	250	250	850	650	1,250	300	300	150	1,591	3.396	8,150
C2500B-120	2,500	1,900	1,850	250	250	850	650	1,250	300	300	-	1,441	3.445	8,270
C2750-120	2,750	1,900	1,850	250	250	900	650	1,250	300	300	150	1,441	3.674	8,820
C2750B-120	2,750	2,100	2,050	250	250	900	650	1,250	300	300	-	1,587	4.230	10,150
C3000-120	3,000	2,000	1,950	250	250	950	750	1,250	300	300	200	1,514	4.190	10,060
C3000B-120	3,000	2,250	2,200	250	250	950	750	1,250	300	300	-	1,697	4.940	11,860

コーナー部 形状・寸法表 2

kh=0.250

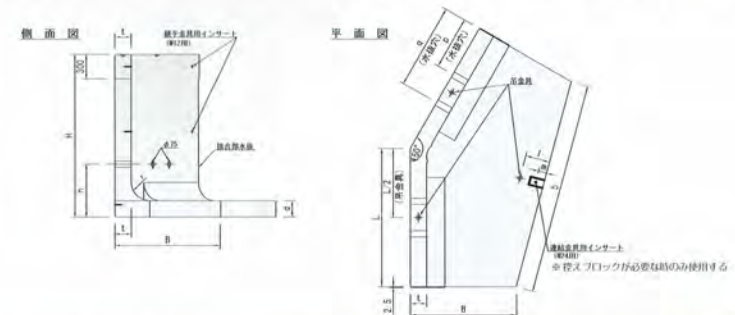
135°



(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	製品質量 (kg)
C1000-135	1,000	1,500	750	150	150	550	750	-	150	150	-	2,198	0.762	1,830
C1250-135	1,250	1,500	900	150	150	750	750	-	150	150	-	2,083	0.916	2,200
C1500-135	1,500	1,500	1,050	150	150	750	750	-	150	150	-	1,968	1.069	2,570
C1750-135	1,750	1,700	1,200	200	200	850	850	-	225	300	150	2,223	1.852	4,440
C1750B-135	1,750	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	-	2,146	1.892	4,540
C2000-135	2,000	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	150	2,146	2.058	4,940
C2000B-135	2,000	1,700	1,450	200	200	850	850	-	225	300	-	2,031	2.116	5,080
C2250-135	2,250	1,700	1,500	200	200	850	650	1,050	225	300	150	1,993	2.301	5,520
C2250B-135	2,250	1,700	1,650	200	200	850	650	1,050	225	300	-	1,878	2.354	5,650
C2500-135	2,500	1,900	1,700	250	250	850	650	1,250	300	300	150	2,210	3.570	8,570
C2500B-135	2,500	1,900	1,850	250	250	850	650	1,250	300	300	-	2,095	3.645	8,750
C2750-135	2,750	1,900	1,850	250	250	900	650	1,250	300	300	150	2,085	3.876	9,300
C2750B-135	2,750	2,100	2,050	250	250	900	650	1,250	300	300	-	2,311	4.473	10,730
C3000-135	3,000	2,000	1,950	250	250	950	750	1,250	300	300	200	2,203	4.414	10,590
C3000B-135	3,000	2,250	2,200	250	250	950	750	1,250	300	300	-	2,474	5.217	12,520

150°



(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	製品質量 (kg)
C1000-150	1,000	1,500	750	150	150	550	750	-	150	150	-	2,510	0.765	1,840
C1250-150	1,250	1,500	900	150	150	750	750	-	150	150	-	2,432	0.929	2,230
C1500-150	1,500	1,500	1,050	150	150	750	750	-	150	150	-	2,354	1.092	2,620
C1750-150	1,750	1,700	1,200	200	200	850	850	-	225	300	150	2,663	1.895	4,550
C1750B-150	1,750	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	-	2,611	1.946	4,670
C2000-150	2,000	1,700	1,300	200	200	850	850	-	225	300	150	2,611	2.113	5,070
C2000B-150	2,000	1,700	1,450	200	200	850	850	-	225	300	-	2,534	2.188	5,250
C2250-150	2,250	1,700	1,500	200	200	850	650	1,050	225	300	150	2,508	2.379	5,710
C2250B-150	2,250	1,700	1,650	200	200	850	650	1,050	225	300	-	2,430	2.456	5,880
C2500-150	2,500	1,900	1,700	250	250	850	650	1,250	300	300	150	2,791	3.700	8,880
C2500B-150	2,500	1,900	1,850	250	250	850	650	1,250	300	300	-	2,713	3.799	9,120
C2750-150	2,750	1,900	1,850	250	250	900	650	1,250	300	300	150	2,713	4.033	9,680
C2750B-150	2,750	2,100	2,050	250	250	900	650	1,250	300	300	-	2,996	4.660	11,180
C3000-150	3,000	2,000	1,950	250	250	950	750	1,250	300	300	200	2,854	4.587	11,010
C3000B-150	3,000	2,250	2,200	250	250	950	750	1,250	300	300	-	3,208	5.432	13,040

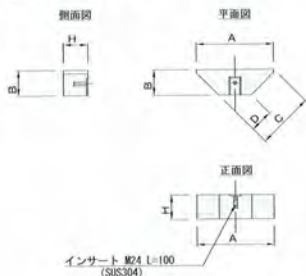
■ 控えブロック

コーナー擁壁の滑動防止のために取り付ける部材です。

- ・ H = 1500以下の製品は必要ありません。
- ・ 土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上は必要ありません。

また、条件によって必要ない場合があります。(P8控えブロック使用条件表 参照)

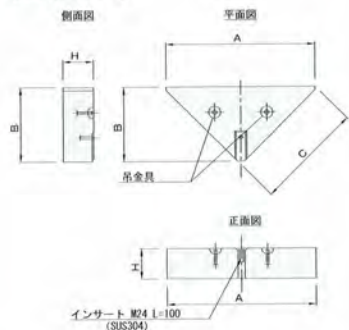
【形状タイプⅠ】



(単位: mm)

控えブロック呼び名	A	B	C	D	H	製品質量 (kg)
BL-0.101A	636	212	470	190	200	49

【形状タイプⅡ】

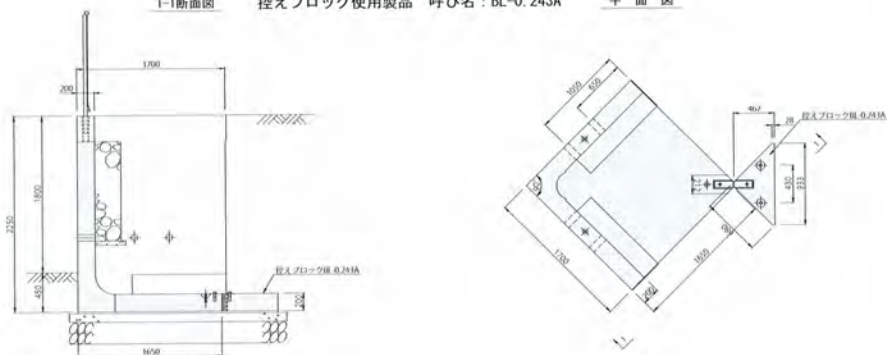


(単位: mm)

控えブロック呼び名	A	B	C	H	製品質量 (kg)
BL-0.243A	933	467	680	200	117
BL-0.243B	933	467	680	250	146
BL-0.412A	1230	615	890	200	198
BL-0.412B	1230	615	890	250	248
BL-0.560A	1442	721	1040	200	269
BL-0.560B	1442	721	1040	250	336
BL-0.625B	1527	764	1100	250	375
BL-0.909B	1853	926	1330	250	546

ザ・ウォールⅡ (大地震対応型) コーナー部 構造図

コーナー部使用製品 呼び名: C2250B-90
控えブロック使用製品 呼び名: BL-0.243A



■ 控えブロック使用条件表 (土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上 30° 未満)

コーナー部呼び名	コーナー部角度	使用する控えブロック	コーナー部呼び名	コーナー部角度	使用する控えブロック
C1750	$90^\circ = \theta$	—	C2500	$90^\circ \leq \theta \leq 95^\circ$	**BL-0.243B
	$90^\circ < \theta \leq 125^\circ$	**BL-0.101A BL-0.243A		$95^\circ < \theta \leq 130^\circ$	BL-0.412B
	$125^\circ < \theta < 180^\circ$	BL-0.243A		$130^\circ < \theta < 180^\circ$	BL-0.560B
C2000	$90^\circ \leq \theta < 95^\circ$	**BL-0.243A	C2750	$90^\circ \leq \theta \leq 105^\circ$	**BL-0.412B
	$95^\circ \leq \theta < 135^\circ$	BL-0.412A		$105^\circ < \theta \leq 135^\circ$	BL-0.560B
	$135^\circ \leq \theta < 180^\circ$	BL-0.560A		$135^\circ < \theta < 180^\circ$	BL-0.625B
C2250	$90^\circ \leq \theta < 95^\circ$	**BL-0.243A	C3000	$90^\circ \leq \theta \leq 95^\circ$	**BL-0.560B
	$95^\circ \leq \theta \leq 100^\circ$	BL-0.243A		$95^\circ < \theta \leq 105^\circ$	**BL-0.625B
	$100^\circ < \theta \leq 140^\circ$	BL-0.412A	C3000B	$105^\circ < \theta < 180^\circ$	BL-0.909B
	$140^\circ < \theta < 180^\circ$	BL-0.560A		$90^\circ \leq \theta < 95^\circ$	BL-0.243B
C2250B	$90^\circ \leq \theta < 95^\circ$	BL-0.243A	—	$95^\circ \leq \theta < 180^\circ$	—
	$95^\circ \leq \theta < 100^\circ$	**BL-0.101A BL-0.243A			
	$100^\circ \leq \theta < 180^\circ$	—			

- (注) 1. 「—」は、控えブロックを取り付ける必要がありません。
 2. 「※」は、どちらを使用してもかまいません。
 3. 「**」は、隣合う直線部の擁壁が同じ高さの場合、控えブロックを取り付けることができません。この場合同じ高さでコーナー部の呼び名に「B」が付く製品を使用してください。例: 呼び名「C2250」の場合、呼び名「C2250B」を使用します。
 4. 土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上は必要ありません。

■ 基礎地盤に必要な長期許容応力度 (必要地耐力)

(単位: kN/m^2)

呼び名	基礎地盤の内部摩擦角							
	$\phi = 30^\circ$ 以上				$\phi = 25^\circ$ 以上 30° 未満			
	直線部	コーナー部 90°	コーナー部 120°	コーナー部 150°	直線部	コーナー部 90°	コーナー部 120°	コーナー部 150°
1000	70	50	50	60	70	60	60	60
1250	80	70	70	70	80	70	80	80
1500	90	90	80	90	100	90	90	90
1750	100	100	90	100	—	110	100	110
1750B	90	90	90	90	100	100	100	100
2000	110	120	110	110	—	130	120	120
2000B	100	110	100	100	110	130	120	110
2250	120	140	120	120	—	160	140	130
2250B	110	140	120	110	120	160	130	120
2500	130	150	130	130	—	170	150	140
2500B	120	150	130	120	130	160	140	130
2750	140	170	150	140	—	200	160	150
2750B	130	160	130	130	140	180	150	140
3000	150	200	160	150	—	230	180	170
3000B	140	170	150	140	150	200	160	150

- (注) 1. コーナー部の任意の角度における基礎地盤に必要な許容応力度は、以下の通りとします。
 $90^\circ < \theta \leq 120^\circ$ の場合、 90° と 120° の大きい値
 $120^\circ < \theta \leq 150^\circ$ の場合、 120° と 150° の大きい値
 $150^\circ < \theta \leq 180^\circ$ の場合、 150° と直線部の大きい値
 2. 化霜を施す場合は、上記表の値に 10kN/m^2 を加算してください。
 3. フェンスを設置する場合は、上記表の値に 5kN/m^2 を加算してください。

■ 歩掛

(10m当り)

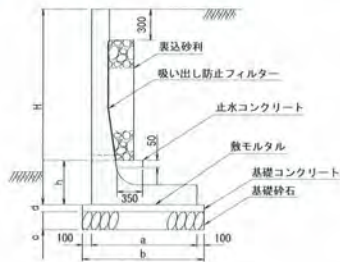
名称	単位	H=1,000	H=1,250	H=1,500	H=1,750	H=2,000	H=2,250	H=2,500	H=2,750	H=3,000
日当り施工量	m	45m	38m	38m	38m	38m	30m	30m	30m	30m
ザ・ウォールⅡ(大地震対応型)	個	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
バックホウ運転 2.9t	日	0.22	—	—	—	—	—	—	—	—
ラフレールクレーン 25t	日	—	0.26	0.26	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33
世話役	人	0.22	0.26	0.26	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33
ブロック工	人	0.22	0.26	0.26	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33
普通作業員	人	0.67	0.79	0.79	0.79	0.79	1.00	1.00	1.00	1.00
雑工種	基礎砕石	式	45%	53%	53%	53%	60%	60%	60%	60%
	均しコンクリート	式	74%	87%	87%	87%	98%	98%	98%	98%
	諸雑費	式	16%	18%	18%	18%	18%	20%	20%	20%

- (注) 1. 本歩掛は、平成24年度国土交通省土木工事積算基準を参考にしております。
 2. 本歩掛は、運搬距離10m程度までの小運搬を含むが、床版工、埋戻工、残土処理は含まない。
 3. 雑工種は、労務費・賃料及び機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限とし計上します。
 【基礎砕石】=敷設、転圧労務、材料投入・締め締め機械運転経費、砕石等材料費。標準敷均し厚は、20cm以下を標準とします。
 【均しコンクリート】=打設、養生、型枠製作・設置、撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホッパー・パイプ・ラタ材料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費
 4. 諸雑費は、敷モルタル、目地モルタル、排水材費用(吸出し防止材)であり、労務費、賃料および機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限とし計上します。
 5. ラフレールクレーンは、現場状況によりクレーンの大きさが異なる場合があります。
 バックホウ : 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9t吊
 ラフレールクレーン : 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧式伸縮ジブ型 25t吊
 6. 据付機械は、現場条件により上表に無い場合は、現場条件に適合した機種・規格を計上してください。

国土交通省土木工事積算基準平成24年度版
 プレキャスト擁壁工 [P89-91] ■ 擁壁形式 L型擁壁、逆T型擁壁、側溝付擁壁 ■ 擁壁高さ H=0.5~5.0m



■ 標準施工例



■ 寸法表

(単位: mm)

呼び名	H	a	b	c	d	h
1000	1,000	750	950	200	50以上	550
1250	1,250	900	1,100	200	50以上	750
1500	1,500	1,050	1,250	200	50以上	750
1750B	1,750	1,300	1,500	200	50以上	850
2000B	2,000	1,500	1,700	250	100以上	850
2250B	2,250	1,650	1,850	250	100以上	850
2500B	2,500	1,850	2,050	250	100以上	850
2750B	2,750	2,050	2,250	250	100以上	900
3000B	3,000	2,200	2,400	250	100以上	950

■ 使用材料参考表

(10m当り)

名称	単位	H=1,000	H=1,250	H=1,500	H=1,750	H=2,000	H=2,250	H=2,500	H=2,750	H=3,000
製品質量 (L=2,000)	kg	1,020	1,290	1,590	2,110	2,510	2,920	3,530	4,140	4,750
裏込砕石	m ³	0.6	0.8	1.7	2.2	3.3	4.7	6.1	7.7	9.4
吸出し防止フィルター	m ²	1.1	1.3	1.6	1.9	2.1	2.3	2.6	2.8	3.1
止水コンクリート	m ³	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3
基礎コンクリート	m ³	0.5	0.6	0.6	0.8	1.7	1.9	1.9	2.3	2.3
基礎型枠	m ²	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
基礎砕石	m ²	9.5	11.0	12.5	15.0	17.0	18.5	20.5	22.5	24.0

■ 築造仕様1

① 土質条件を確認してください

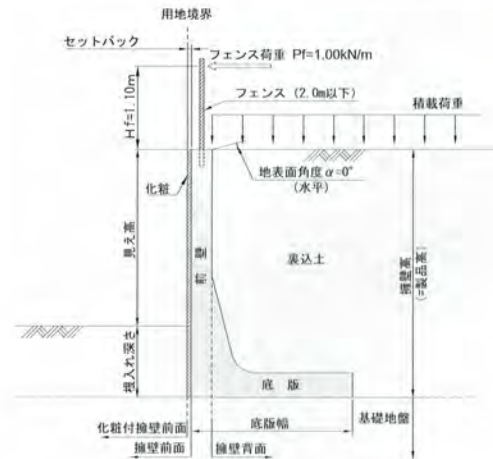
・ザ・ウォールⅡ(大地震対応型)の構造にあたっては、擁壁背面および基礎地盤の土質条件により本擁壁の適用の可否や施工方法等が異なるので、施工場所の土質を十分把握して、認定条件に適合したものであることを確認してください。

② 必要根入れ深さ

・宅地造成等規制法施行令第8条4項に則り、擁壁を岩盤に接着して設置する場合を除き、次の通りとしてください。

基礎地盤の土質	必要根入れ深さ
土の内部摩擦角 φ=30°以上 φ=25°以上30°未満	35cm以上かつ擁壁高さの15/100以上 45cm以上かつ擁壁高さの20/100以上

(注)「擁壁の高さ」は、「見え高」を表示。



■ 土の内部摩擦角 φ = 30° 以上

(単位: mm)

擁壁高さH	根入れ深さDf	見え高
1,000	350	650
1,250	350	900
1,500	350	1,150
1,750	350	1,400
2,000	350	1,650
2,250	350	1,900
2,500	350	2,150
2,750	360	2,390
3,000	400	2,600

■ 土の内部摩擦角 φ = 25° 以上 30° 未満

(単位: mm)

擁壁高さH	根入れ深さDf	見え高
1,000	450	550
1,250	450	800
1,500	450	1,050
1,750	450	1,300
2,000	450	1,550
2,250	450	1,800
2,500	450	2,050
2,750	460	2,290
3,000	500	2,500

③ セットバック

・セットバックとは、前壁を用地境界より下げることです。セットバックの幅は、前壁に化粧模様を付ける、前壁のたわみ等を考慮する場合に、協議の上決定してください。

④ 基礎及び敷モルタル

○ 基礎

・標準施工例の通りとします。ただし、基礎地盤の許容応力度が不足していたり、部分的に基礎地盤が悪い場合には、許容応力度を確保できるように置換工法、地盤改良、杭基礎等の基礎構造を適切に選定してください。

○ 敷モルタル

・基礎コンクリート上面と擁壁底面との間に間隙が生じないように、厚さ2cm程度の空練りモルタルを均等に敷き均してください。最終的に、敷きモルタルが密に充填されているかの確認をしてください。

